



# 帳票 DX モバイルエントリー

## セットアップガイド

### Salesforce 版

Ver.2.9

株式会社オプロ

## 改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/01/07	新規発行
1.1	2019/02/22	社名変更
1.2	2019/11/22	AppsME Connecter1.19 及び AppsME アプリ 2.10 バージョン更新に対応
1.3	2020/03/06	AppsME Connecter1.20、AppsME(2.13)に対応
1.4	2020/05/11	AppsME Connecter1.22、AppsME(2.14)及び AppsME(2.15)に対応
1.5	2020/07/10	AppsME Connecter1.24、AppsME(2.17)に対応
1.6	2020/08/12	AppsME Connecter1.26、AppsME(2.18)に対応
1.7	2020/08/24	AppsME を利用するための権限について記載
1.8	2020/11/13	AppsME Connecter1.29、AppsME(2.20)に対応
1.9	2021/01/20	AppsME Connecter 1.31、AppsME(2.21)に対応
2.0	2021/05/25	「3.4.3 「OPROARTS Connector Prefix」の設定」を追記
2.1	2022/07/12	「1.3 対応事項」OS に Windows11 を追記
2.2	2022/09/21	「1.3 対応事項」に Windows についての制限事項を追記
2.3	2023/05/11	表紙のタイトルを「AppsME」から「帳票 DX モバイルエントリー」に変更。
2.4	2023/06/15	帳票 DX モバイルエントリー Connecter 1.38、帳票 DX モバイルエントリー(2.26.0)に対応
2.5	2023/07/06	帳票 DX モバイルエントリー Connecter 1.39、帳票 DX モバイルエントリー(2.27.0)に対応
2.6	2024/02/15	「AppsME」の記載を「帳票 DX モバイルエントリー」に変更 帳票 DX モバイルエントリー-Connector 1.40 に対応
2.7	2024/03/14	帳票 DX for Salesforce との連携設定を追記
2.8	2024/05/10	帳票 DX モバイルエントリー-Connector 1.41 に対応
2.9	2025/08/04	「添付画像のサイズ」に関する仕様を追記
3.0	2025/09/01	4.2 接続アプリケーションのインストールについて追加

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。なお、本文中にTMマーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の使い方

※ 「AppsME」は2023年2月をもちまして「帳票DXモバイルエントリー」に名称を変更いたしました。

本書は株式会社オプロが提供する「帳票DXモバイルエントリー」のセットアップガイド（Salesforce版）です。

本書をご利用いただくことで、帳票DXモバイルエントリーとSalesforceを連携するための動作環境を設定する手順を理解し、モバイル端末からSalesforceの情報を参照・編集できることを目的としています。

環境を設定後、入力レイアウトを自由にカスタマイズするには、「帳票DXモバイルエントリーデザイナーガイド（Salesforce版）」を参照してください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作するうえで知っていると便利なポイントについて記載しています。
<b>参照</b>	本書における参照先を記載しています。
<b>〔 〕</b>	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
<b>「 」</b>	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

<b>1. はじめに</b>	<b>6</b>
1.1 製品コンセプト	6
1.2 注意事項	6
1.3 制限事項	6
<b>2. 帳票 DX モバイルエントリー Connector の設定</b>	<b>7</b>
2.1 帳票 DX モバイルエントリー Connector のインストール	7
2.2 帳票 DX モバイルエントリーを利用するための権限について	12
<b>3. Salesforce 側の設定</b>	<b>13</b>
3.1 帳票 DXME 接続設定	14
3.2 帳票 DXME ユーザ設定	16
3.3 帳票 DXME モバイル設定	17
3.3.1 モバイルで使用するオブジェクトの設定	18
3.3.2 オブジェクト毎のレイアウトの設定	24
3.4 帳票 DX モバイルエントリー カスタム設定について	34
3.4.1 「バックグラウンド保存機能」の有効化設定	34
3.4.2 「Salesforce Files」に添付画像や手書きを保存する設定	36
3.4.3 「一覧画面のレコード取得件数」の設定	37
3.4.4 「一度に取得する最大レイアウト数」の設定	39
3.4.5 レコードの保存時や手書きの保存時に確認メッセージを表示する設定	41
3.4.6 「モバイルアプリ設定再取得基準日時」の設定	44
3.4.6 「OPROARTS Connector Prefix」の設定	46
<b>4. モバイル端末側の設定</b>	<b>49</b>
4.1 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリのインストール   iOS/Android/Windows10	49
4.2 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリの起動（ログイン）	50
4.3 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリの終了（ログアウト）	53
<b>5. 帳票 DX モバイルエントリーの説明</b>	<b>54</b>
5.1 基本操作について	54
5.2 オフライン／オンライン時の操作について	59
5.2.1 オフライン時の操作(新規作成)	60
5.2.2 オフライン時の操作(編集)	62
5.2.3 オンライン時の操作	64
5.2.4 バックグラウンド保存機能	65
5.3 権限の有無によるボタンの表示について	66
5.3.1 レコード一覧画面(すべてのレコード表示時)作成権限がない場合	66
5.3.2 レコード一覧画面(未保存のレコード表示時)作成・編集権限がない場合	66

5.3.3	レコード詳細画面 作成・編集・削除権限がない場合	67
5.3.4	レコード詳細画面の関連レコードタブ 作成権限がない場合	68

# 1. はじめに

ここでは帳票 DX モバイルエントリー（Salesforce 版）の製品コンセプトや操作上の注意事項・制限事項について説明します。

## 1.1 製品コンセプト

帳票 DX モバイルエントリーの製品コンセプトについて説明します。

- Salesforce に、モバイル端末から入力できます。
- モバイル端末がオフライン状態でも入力できます。
- 参照ユーザの権限にあわせて、管理者が表示項目を設定できます。  
(例：アルバイトには一部の項目だけを表示し、管理者にはすべての項目を表示できます。)
- 手書き機能を搭載しています。  
(例：お客様に作業完了の確認サインをいただき、Salesforce にアップロードできます。)
- 写真などの画像ファイルを Salesforce にアップロードできます。
- カスタムレイアウト機能を搭載しています。  
現場の人が使いやすいように、管理者が帳票デザイナーを使ってレイアウトできます。  
Salesforce 特有の見た目から、ユーザが見慣れた既存の帳票レイアウトに近づけることができます。

## 1.2 注意事項

モバイル端末で帳票 DX モバイルエントリーを操作する際の注意事項について説明します。

- ご契約中の Salesforce のストレージの容量を超えて、画像をアップロードすることはできません。
- 「未保存のレコード」が存在する状態で帳票 DX モバイルエントリーからログアウトすると、未保存のレコードは消去されます。

## 1.3 制限事項

帳票 DX モバイルエントリーのインストールが可能な OS 及びバージョンは、次のとおりです。

モバイル端末の OS	対応バージョン	備考
iOS	iOS 11.0 以上	スマホ／タブレット
Android	Android 7.0 以上	スマホ／タブレット
Windows	Windows10( 64bit ) Windows 11( 64bit )	タブレット／Windows PC

## 2. 帳票 DX モバイルエントリー Connector の設定

帳票 DX モバイルエントリーと Salesforce を連携するための「帳票 DX モバイルエントリー Connector」の設定手順を説明します。

### 2.1 帳票 DX モバイルエントリー Connector のインストール

帳票 DX モバイルエントリーと Salesforce を連携するための「帳票 DX モバイルエントリー Connector」をインストールします。

1. 次の URL にアクセスし、[今すぐ入手] ボタンをクリックします。

<https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N3A00000E1kjOUAR>



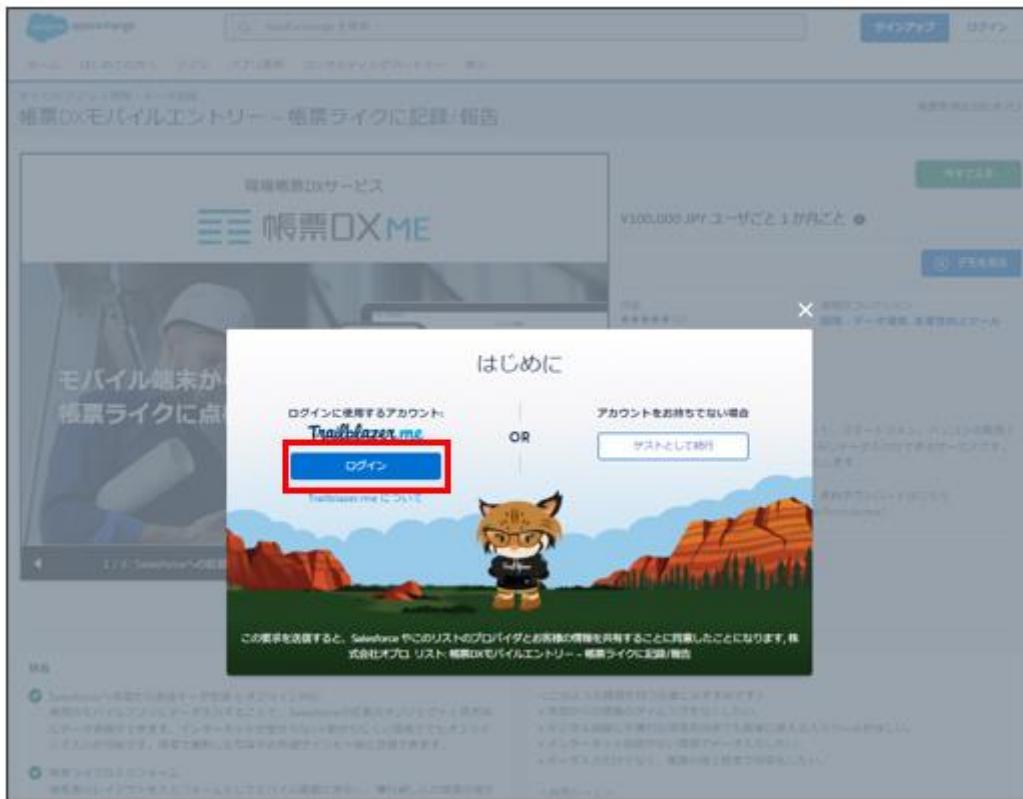
The screenshot shows the AppExchange listing for '帳票DXモバイルエントリー'. The page includes the following details:

- Category:** 現場帳票DXサービス
- Logo:** 帳票DX ME
- Image:** A worker in a hard hat using a tablet to enter data into a mobile form.
- Text:** モバイル端末から 帳票ライクに点検・報告
- Price:** ¥100,000 JPY ユーザごと 1か月ごと
- Buttons:** [今すぐ入手] (highlighted with a red box), [デモを見る]
- Rating:** ★★★★ (1)
- Release Date:** 2022/01/27
- Keywords:** 開発・データ連携, 生産性向上ツール
- Description:** 点検・報告のアナログ作業をDX化  
帳票DXモバイルエントリーは、タブレット、スマートフォン、パソコンの画面上に、お使いの報告書等のレイアウトを表示しデータ入力ができるサービスです。現場作業者の点検/報告業務をご支援いたします。
- Link:** 「帳票DXモバイルエントリー」詳細・資料ダウンロードは[こちら](https://www.opro.net/products/service/formdx-me/)

#### Point

リンク先が表示されない場合は、AppExchange サイトで「帳票 DX モバイルエントリー」を検索してください。

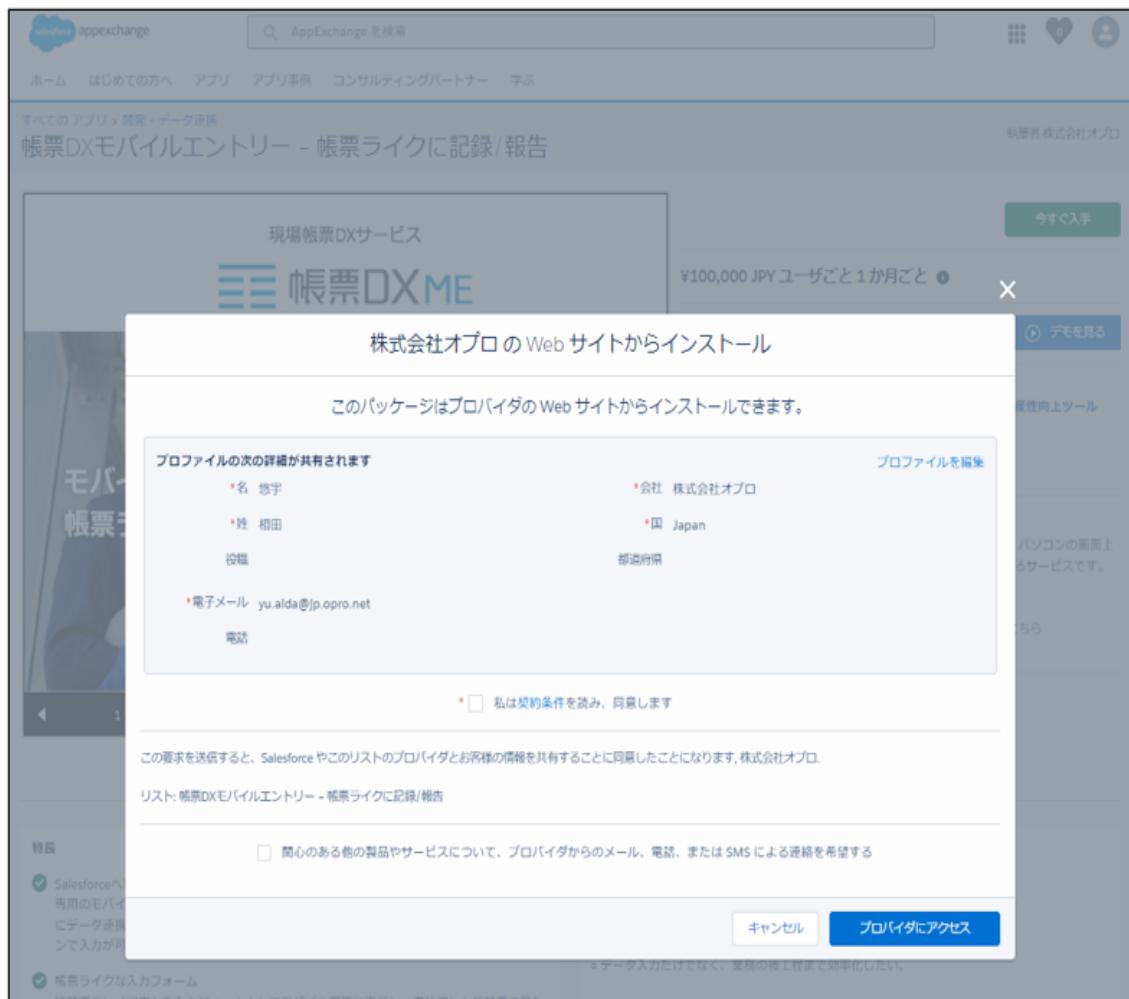
## 2. 「AppExchange にログイン」画面が表示されます。[ログイン] ボタンをクリックします。



## 3. インストールする組織の管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



## 4. 「株式会社オプロの Web サイトからインストール」画面が表示されます。



## Point

本番組織にインストールする前に Sandbox でテストすることをお勧めします。

## 5. 契約条件を一読の上、「私は契約条件を読み、同意します」にチェックをつけます。

【確認してインストール】ボタンをクリックします。



**Point**

Sandbox 環境へインストールする場合は再度、ログインを求められます。  
インストールする Sandbox 組織のユーザ名とパスワードを入力し、「Sandbox にログイン」ボタンをクリックします。※Sandbox にインストールする画面が表示されないのでないのかもしれません。



6. オプロホームページの帳票 DX モバイルエントリーのトライアルライセンスのお申し込みページに遷移します。  
必須になっている項目に入力して、[私はロボットではありません]にチェック。  
[無料トライアルを申込む]ボタンをクリックします。

### トライアルライセンスのお申し込み

帳票DXモバイルエントリー 1ヶ月無料トライアル

下記フォームを入力して申込ボタンをクリックしてください。



以下の機能・サービスを無料でご利用いただけます。

**⚡ 無料トライアルで体験できること**

- モバイル入力アプリの操作 (5ID)
- 入力フォームの作成
- 帳票出力
- 帳票テンプレートの作成

**📞 サポートも利用できて安心**

- ウェブサポート (24時間365日受付可)
- 製品相談会 (事前予約制)

**🌐 ご契約後もそのまま使える**

新規組織でお試しいただいたトライアル環境は、ご契約後もそのままご利用いただけます。

トライアル期間終了後に自動的に課金が発生することはありますのでご安心ください。

姓 必須

名 必須

会社名 必須

部署

役職

電話番号 必須

メールアドレス 必須

フリーメールアドレスはご準備下さい。

トライアル目的

備考

私はロボットではありません  reCAPTCHA

上記フォームを入力いただき「個人情報の取り扱いについて」に同意の上、申込ボタンをクリックしてください。

**無料トライアルを申込む**

お申込みが完了すると以下のようにお申込み完了ページに遷移します。



The screenshot shows the OPRO website with the following navigation bar:

- 会社情報
- 採用情報
- サポート
- パートナー
- お問い合わせ

Below the navigation bar, the breadcrumb navigation is:

- HOME > ライアルライセンスのお申し込み > 帳票DXモバイルエントリー

## トライアルライセンスのお申し込み

**帳票DXモバイルエントリー 1ヶ月無料トライアル**

お申し込みありがとうございました。

申込み完了のメールを送信いたします。

メールが受信できない場合は、迷惑メールフォルダに入っている、もしくは入力されたメールアドレスに誤りがある可能性がございますので、お手数ですがご確認をお願いいたします。

[帳票DXモバイルエントリーTOPに戻る >](#)

入力していただいたメールアドレス宛に

件名：【オプロ】帳票 DX モバイルエントリー 無償トライアルにお申し込みいただきありがとうございました  
といったメールが自動送信されます。

3 営業日以内に担当者より、「ライセンス認証情報」および「利用手順」の案内メールが届きますのでしばらくお待ちください。

**Point**

インストール完了のお知らせはメールでも通知されます。

## 2.2 帳票 DX モバイルエントリーを利用するための権限について

インストール時に「すべてのユーザのインストール」を選択しない場合や個別に権限を付与する場合は、帳票 DX モバイルエントリー Connector に関するオブジェクト等の権限を個別にプロファイルで設定していただく必要があります。

帳票 DX モバイルエントリーを利用するため必要な権限について説明します。

### ■ オブジェクト設定

- ・帳票 DX モバイルエントリーで利用するオブジェクトをオンにする。

オブジェクト権限	「参照」+その他必要な権限
項目権限	「参照アクセス権」+必要な場合は「編集アクセス権」

※帳票 DX モバイルエントリーで利用するオブジェクトとは以下 2 種類のオブジェクトがあります。

- ①帳票 DX モバイルエントリー Connector のオブジェクト (API 参照名が「appsme\_\_」で始まるオブジェクト)



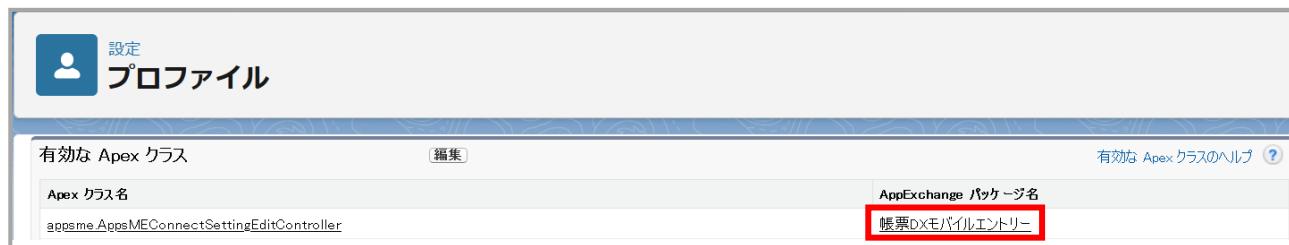
- ②帳票 DX モバイルエントリーでデータを入力するオブジェクト

例：商談 (Opportunity) 、取引先 (Account) 、カスタムオブジェクトなど

### ■ Apex クラスアクセス

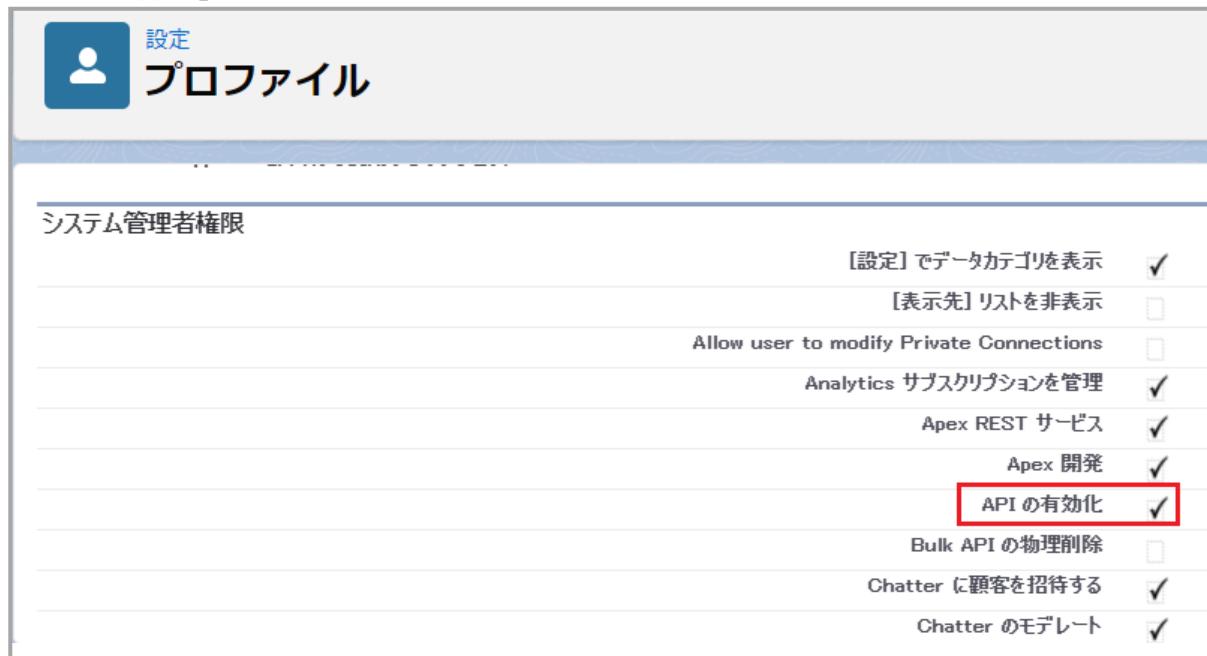
- ・帳票 DX モバイルエントリー Connector のパッケージに含まれるクラスを全て有効化する。

※帳票 DX モバイルエントリー Connector のパッケージに含まれるクラスとは AppExchange パッケージ名が「帳票 DX モバイルエントリー」の Apex クラス。



### ■ システム権限

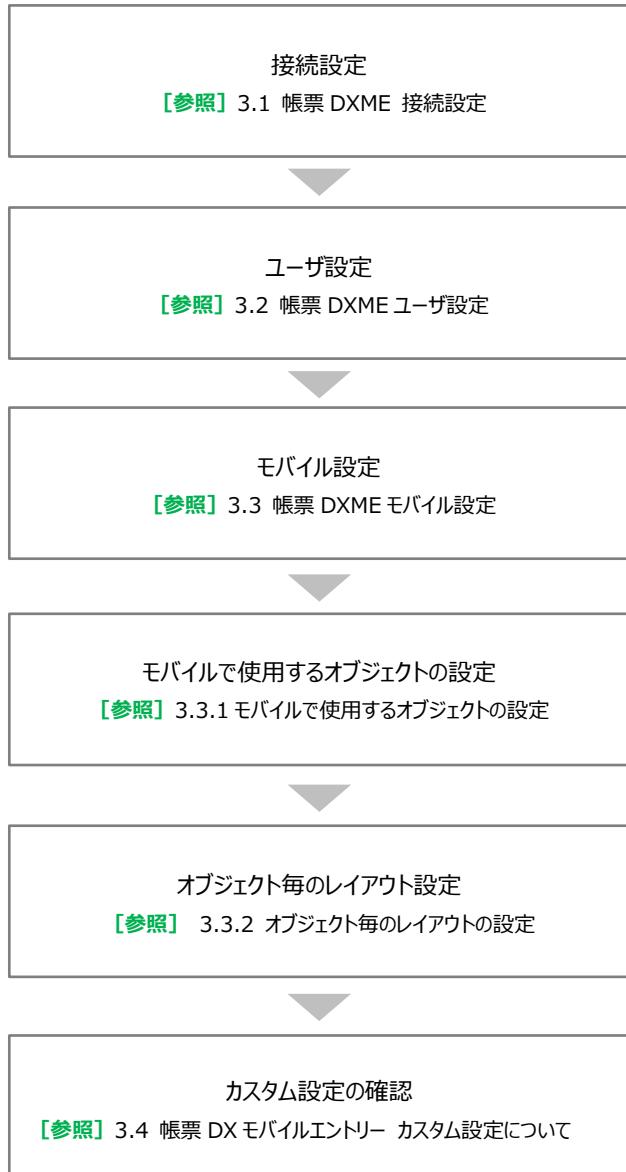
- ・「API の有効化」をオンにする。



# 3. Salesforce 側の設定

帳票 DX モバイルエントリーの Salesforce 側の設定を行います。  
接続設定、ユーザ設定、モバイル設定の手順を説明します。

3 章における手順の流れは次のとおりです。



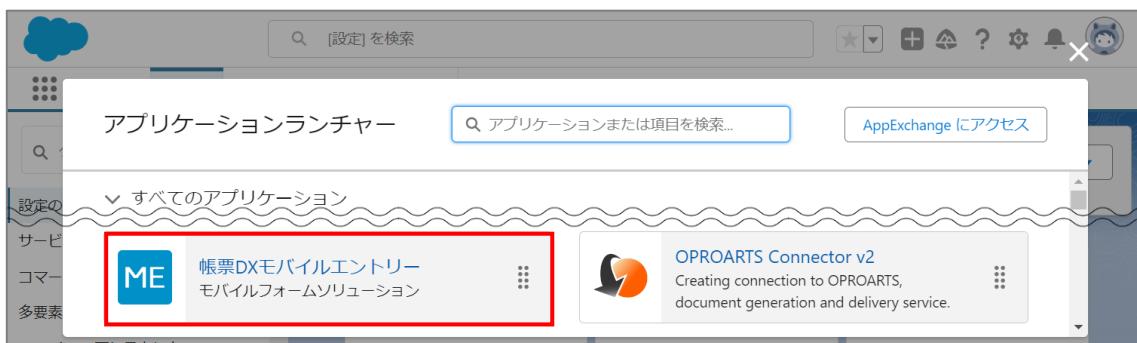
## 3.1 帳票 DXME 接続設定

帳票 DX モバイルエントリーの Salesforce 側の設定を行います。最初に帳票 DX モバイルエントリーを起動して接続設定を行います。

1. Salesforce にログインします。
2. [アプリケーションランチャー] アイコンをクリックします。



3. アプリケーションランチャーを下にスクロールし、[帳票 DX モバイルエントリー] リンクをクリックします。



**Point** Salesforce Classic では、右上のアプリケーションメニューから選択できます。

4. [帳票 DXME 接続設定] タブをクリックし、[新規] をクリックします。



5. 「新規接続設定」画面が表示されます。

認証情報の帳票 DX システム連携用「CID」「UID」「UPW」を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



接続設定の編集  
新規接続設定

情報

CID

UID

UPW

作成者

保存 キャンセル

**Point**

認証情報は、オブロから送付しているテキストファイルをご確認ください。

■【例】認証情報

○○○○株式会社

【認証情報】  
CID: XXXXXXXXXXXXXXXX

-----  
◎帳票DX システム連携用  
UID: YYYYYYYYYYYYYY UPW:  
YYYYYYYYYYYYYYYY ZZZZZZZZ

## 3.2 帳票 DXME ユーザ設定

帳票 DX モバイルエントリーを使用するユーザを設定します。

- [帳票 DXME ユーザ設定] タブをクリックします。



- 「ユーザ設定」画面が表示されます。

帳票 DX モバイルエントリーを使用するユーザの「使用可能」にチェックをつけて、[保存] ボタンをクリックします。

ユーザ設定

帳票 DX モバイルエントリーを使用するユーザにチェックをつけて、保存ボタンをクリックしてください。

検索				
使用可能	氏名	有効	ロール	プロファイル
<input type="checkbox"/>	Chatter Expert	✓	Chatter Free User	
<input checked="" type="checkbox"/>	TEST_QPSS	✓	システム管理者	
<input type="checkbox"/>	User_Integration	✓	Analytics Cloud Integration User	
<input type="checkbox"/>	User_Security	✓	Analytics Cloud Security User	
<input checked="" type="checkbox"/>	テストユーザ	✓	契約管理者	

検索

保存

**注意** ご契約されているライセンス数以上の有効化はできません。

### Point

「モバイルアプリのバージョン」にて、Connector v1.41 をインストールして以降に、その組織に接続したユーザが、最後に使用したモバイルアプリのバージョンを確認することができます。

ユーザ設定

帳票 DX モバイルエントリーを使用するユーザにチェックをつけて、保存ボタンをクリックしてください。

検索				
使用可能	氏名	有効	ロール	プロファイル
<input type="checkbox"/>	AppsME開発_モモ1	✓	デモユーザ	モバイルアプリのバージョン
<input checked="" type="checkbox"/>	AppsME開発_開発者C0	✓	システム管理者	2.28.0
<input type="checkbox"/>	AppsME開発_開発者C2	✓	システム管理者	2.29.0
<input type="checkbox"/>	AppsME開発_開発者C3(Master)	✓	AppsME Manager	
<input type="checkbox"/>	AppsME開発_開発者K1	✓	システム管理者	

検索

保存

以下の点にご注意ください。

- 2.29.0 よりも古いモバイルアプリのバージョンは、「~2.28.1」と表示されます。
- 「モバイルアプリのバージョン」は 内部的には ユーザーレコードのカスタム項目 (appsme\_\_AppsMEEVersion\_\_c)として保持しています。当該項目の更新はログインユーザーの権限で実行するため、バージョンを記録したい場合は権限を適切に設定しておく必要があります。権限不足などにより更新に失敗した場合、エラーにはなりませんが、バージョンの更新はスキップされます。

## 3.3 帳票 DXME モバイル設定

帳票 DX モバイルエントリーではモバイル端末で使用するオブジェクトとレイアウトを設定するだけで、モバイル側の画面を自動で生成できます。

ここでは、Salesforce の「商談」オブジェクトの項目を、モバイル側で参照する場合を例に、説明します。

### ■モバイル端末：レコード一覧画面



商談名	サンプル商談A
フェーズ	Prospecting
金額	445,000
商談名	Dickenson Mobile Generators Qualification
フェーズ	15,000
金額	
商談名	United Oil Office Portable Generators Negotiation/Review
フェーズ	125,000
金額	
商談名	Express Logistics Standby Generator Closed Won
フェーズ	220,000
金額	
商談名	GenePoint Standby Generator Closed Won
フェーズ	85,000
金額	

### ■モバイル端末：レコード詳細画面



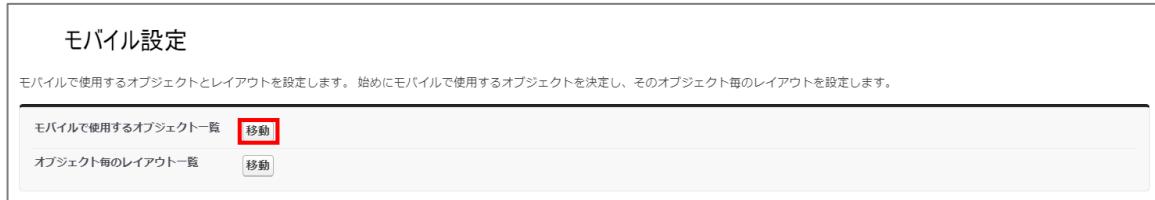
商談名	サンプル商談A
金額	445,000
完了予定日	2023/3/31
補足情報	
非公開	
フェーズ	Prospecting
売上予測分類	パイプライン

### 3.3.1 モバイルで使用するオブジェクトの設定

- はじめにモバイルで使用するオブジェクトを設定します。
- [帳票 DXME モバイル設定] タブをクリックします。



- 「モバイル設定」画面が表示されます。  
「モバイルで使用するオブジェクト一覧」の [移動] ボタンをクリックします。



- 「モバイルで使用するオブジェクト一覧」画面が表示されます。[新規] ボタンをクリックします。



- 「モバイルで使用するオブジェクトの選択」画面が表示されます。  
「対象プロファイル」を選択後、モバイルで使用するオブジェクトを選択します。[追加] ボタンをクリックし、[決定] ボタンをクリックします。（ここでは「商談」オブジェクトを使用します。）



**Point** 「オブジェクトの絞り込み」にて、オブジェクト名を入力し[実行]をクリックするとオブジェクト名で検索することができます。[リセット]をクリックすると全オブジェクトが表示されます。



**Point** 「すべてのオブジェクトを表示する」について

- ・オフの場合、標準オブジェクト (Account, Asset, Campaign, Case, Contact, Contract, Idea, Lead, Opportunity, Order, Product2, Solution, User, Quote, WorkOrder) + 全てのカスタムオブジェクトが表示されます。
- ・オンの場合、すべての標準オブジェクト + すべてのカスタムオブジェクトが表示されます。（帳票 DX モバイルエントリーで利用できないオブジェクトも含まれます）



## 6. 「レコード一覧に表示する項目」が表示されます。

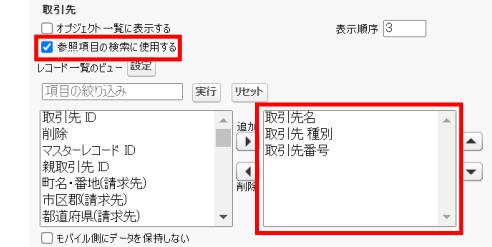
モバイル側のレコード一覧に表示する項目を追加し、[保存] ボタンをクリックします。

**Point** 「モバイル側にデータを保持しない」にチェックをつけると、モバイル側でデータの保持は行いません。

**Point** 「表示順序」の順番が、モバイル側のオブジェクト一覧画面での表示順となります。表示順序は変更することができます。

**Point** 「項目の絞り込み」にて、項目名を入力し[実行]をクリックすると項目名で検索することができます。  
[リセット]をクリックすると全項目が表示されます。

<b>Point</b>	<p>「オブジェクト一覧に表示する」のチェックを外すと、そのオブジェクトは[オブジェクト一覧画面]に表示されなくなります。</p> 
--------------	---

<b>Point</b>	<p>「参照項目の検索に使用する」にチェックを付けると、オブジェクトへの参照項目を入力する際に[レコード一覧画面]のように参照先検索画面として表示することができます。</p>  <p>■ 参照項目の検索画面</p> 
--------------	---

## Point

「レコード一覧のビュー」の設定をすると、レコード一覧画面で表示するレコード条件を予め指定することができます。ビューは複数作成することができます。

ビューの条件には、SOQL クエリの WHERE 部分を記載します。条件を空にするとすべてのレコードが取得されます。



ログインユーザの「ユーザ ID」、「ロール ID」、「プロファイル ID」を取得することも可能です。

それぞれ「条件」に以下のように記述します。

ユーザ ID	:userId
ロール ID	:roleId
プロファイル ID	:profileId

## ■レコード一覧画面

設定したビューが、以下のように表示されます。



ビューを選択すると、その条件にあったレコードが表示されます。



## 7. モバイルで使用するオブジェクトが設定されます。

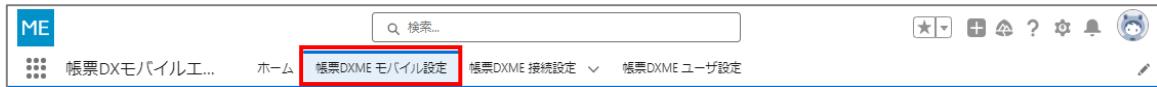
## Point

他のプロファイルで設定を追加する場合は、[新規] ボタンをクリックして、上記手順 4~6 を繰り返します。

### 3.3.2 オブジェクト毎のレイアウトの設定

続いて、オブジェクト毎のレイアウトを設定します。

- [帳票 DXME モバイル設定] タブをクリックします。



- 「モバイル設定」画面が表示されます。

「オブジェクト毎のレイアウト一覧」の「[移動]」ボタンをクリックします。



- 「オブジェクト毎のレイアウト一覧」画面が表示されます。

[新規レイアウト作成] ボタンをクリックします。



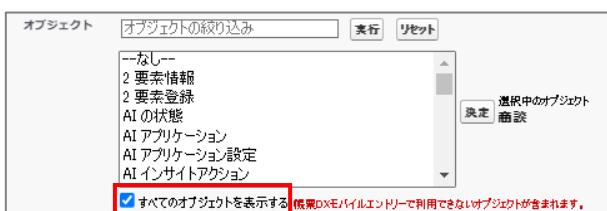
- 新規作成する「レイアウト名」を入力し、モバイル側で参照したい「オブジェクト」を選択し、[決定]をクリックします。



#### Point

「すべてのオブジェクトを表示する」について

- ・オフの場合、標準オブジェクト (Account, Asset, Campaign, Case, Contact, Contract, Idea, Lead, Opportunity, Order, Product2, Solution, User, Quote, CaseComment, OpportunityLineItem, OrderItem, WorkOrder) + 全てのカスタムオブジェクトが表示されます。
- ・オンの場合、すべての標準オブジェクト + すべてのカスタムオブジェクトが表示されます。（帳票 DX モバイルエントリーで利用できないオブジェクトも含まれます）



5. 「対象プロファイル」で参照を許可するプロファイルを選択し、[追加]をクリックします。



6~13 の設定はより詳細にレイアウト設定を行う手順となります。必要に応じて設定を行います。  
この設定を行わない場合は、手順 14 へ進んでください。

6. 「関連 1」～「関連 5」でオブジェクトを選択し[追加]をクリックすると、モバイル端末の帳票 DX モバイルエントリーに「関連レコード」タブが表示されます。

なお、選択したオブジェクトの「オブジェクト設定」「レイアウト設定」をあらかじめ行う必要があります。

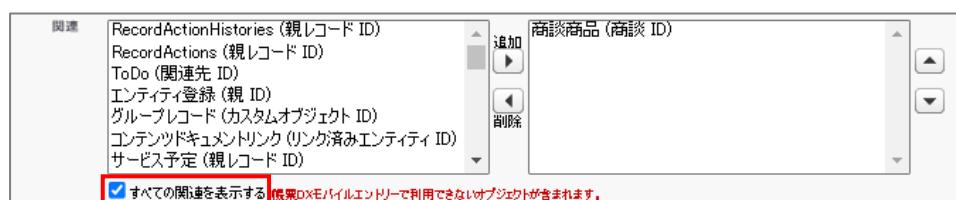


#### ■モバイル端末

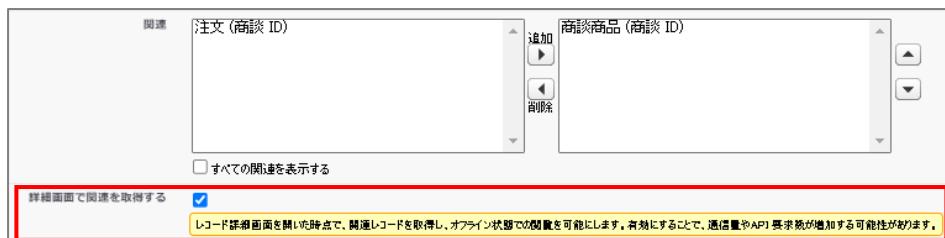


#### Point

- 「すべての関連を表示する」について
- ・オフの場合、標準オブジェクト (Account, Asset, Campaign, Case, Contact, Contract, Idea, Lead, Opportunity, Order, Product2, Solution, User, Quote, CaseComment, OpportunityLineItem, OrderItem, CaseComment, OpportunityLineItem, OrderItem, WorkOrderLineItem, ProductConsumed) + 全てのカスタムオブジェクトが表示されます。
  - ・オンの場合、すべての標準オブジェクト + すべてのカスタムオブジェクトが表示されます。（帳票 DX モバイルエントリーで利用できないオブジェクトも含まれます）



7. 「詳細画面で関連を取得する」をクリックすると、モバイル端末でレコード詳細を開いた時点で関連レコードを読み込むように設定できます。



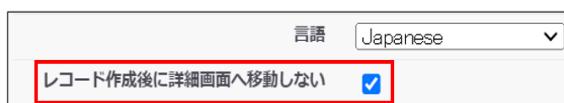
8. 「言語」のプルダウンをクリックすると、言語が選択できます。

ここで言語を設定すると、その言語のユーザが利用できるレイアウトとなります。

同一プロファイルで、複数言語に対応したレイアウトを作成できます。



9. 「レコード作成後に詳細画面へ移動しない」にチェックを付けると、モバイル端末でレコードを作成後、作成したレコードの詳細を開かずに、レコード一覧の画面を読み込むようになります。

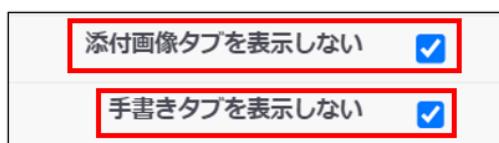


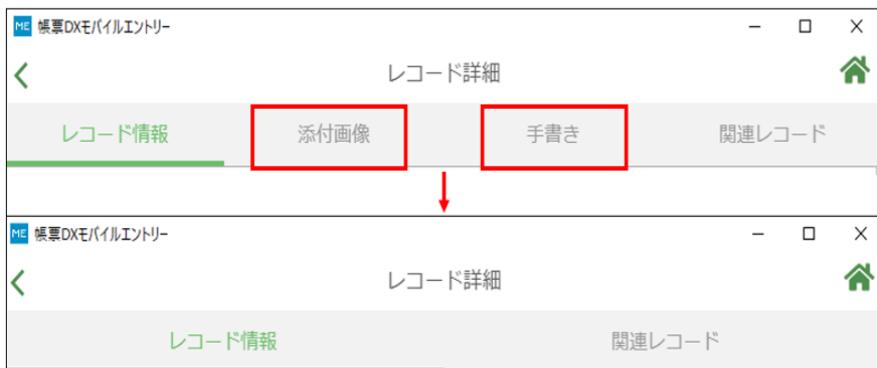
この設定をした場合は移動する代わりに、画面下に「レコードを作成しました」というメッセージが表示されます。



10. 「添付画像タブを表示しない」にチェックを付けると、モバイル端末のモバイルエントリーの[添付画像]タブが非表示になります。

「手書きタブを表示しない」にチェックを付けると、モバイル端末のモバイルエントリーの [手書き] タブが非表示になります。

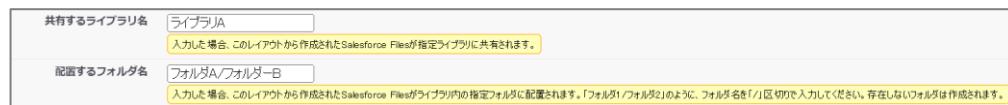




※この設定は 16 で紹介する「画像入力に使用」設定により、各タブに遷移しなくても添付画像や手書きを編集できるようになったため、不要な場合は非表示にできるようにしたものになります。

11. 「共有するライブラリ名」を設定すると、このレイアウトから作成された Salesforce Files が指定ライブラリに共有されます。

「配置するフォルダ名」を設定すると、このレイアウトから作成された Salesforce Files がライブラリ内の指定フォルダに配置されます。「フォルダ 1/フォルダ 2」のように、フォルダ名を「/」区切りで入力してください。存在しないフォルダは作成されます。



## 12. 項目に紐づかない添付画像設定タブにある

「添付画像」のプルダウンをクリックすると、添付画像のサイズを指定できます。

指定できるサイズは「Original」「Medium」「Small」です。

「Original」：モバイルのカメラアプリで撮影したサイズとなります。

「Medium」：サイズは「1280×960 (高さ×幅)」となります。

「Small」：サイズは「640×480 (高さ×幅)」となります。

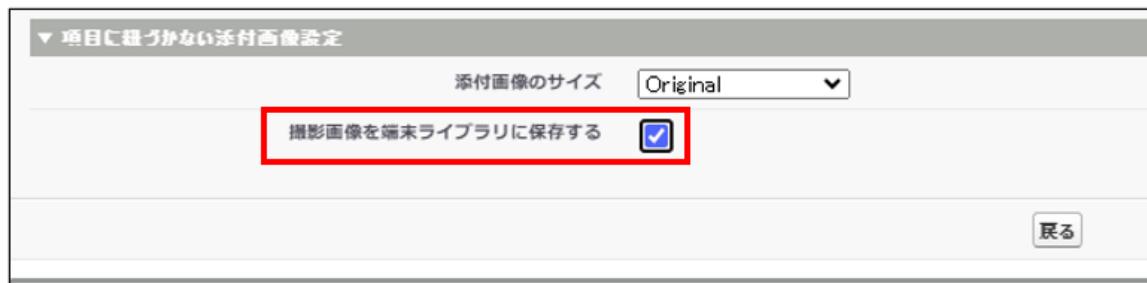
「なし」に設定した場合は、「Original」サイズとなります。



※「添付画像のサイズ」で指定したサイズは、iOS/Android 版の場合はカメラで撮影した写真またはライブラリからアップロードした画像に適用されます。

Windows 版の場合は「添付画像のサイズ」の設定は適用されません。

13. 「撮影画像を端末ライブラリに保存しない」にチェックをつけると、モバイル端末のモバイルエントリーで写真を撮影して画像を添付した際、撮影画像がモバイル端末のライブラリ（カメラロールなど）に保存されません。



14. 「セクション」に任意の名前を入力し、[追加] ボタンをクリックします。



15. 手順 13 で入力したセクション名のエリアが追加されます。

16. 「対象項目」で、モバイル端末の詳細画面に表示したい項目をクリックし、手順 11 で作成したセクションにドラッグ & ドロップします。

**Point** 必要に応じて手順 13~15 を繰り返し、セクションと対象項目を追加します。

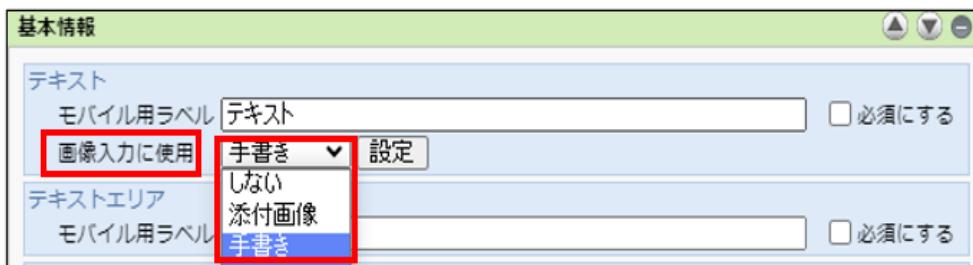
**Point** 「必須にする」にチェックを入れると、帳票 DX モバイルエントリーでの入力が必須になります。

- Point** 「項目の絞り込み」にて、項目名を入力し[実行]をクリックすると項目名で検索することができます。  
[リセット]をクリックすると全項目が表示されます。

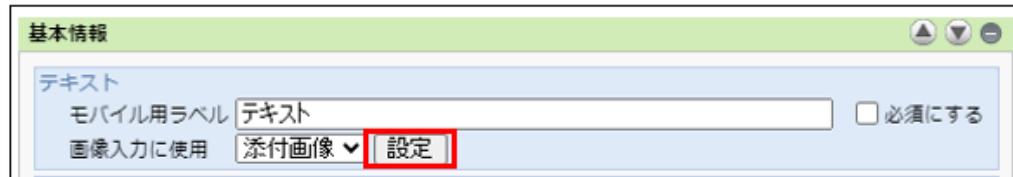


- Point** テキスト型かつカスタム項目で必須・数式・自動採番ではない項目に対して、「画像入力に使用」設定を行うことができます。  
この設定を行うことで、レイアウト内での画像表示・入力が可能となります。  
また、これにより 1 レイアウトに手書きや画像を複数配置できるようになります。

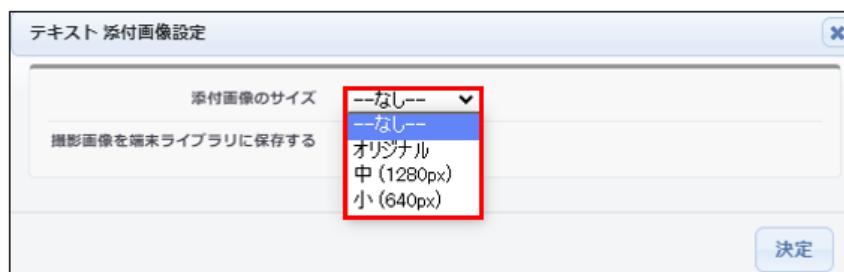
添付画像と手書きを選択することができます。



また、設定ボタンから添付画像と手書きの詳細設定を行うことができます。



以下は添付画像についての詳細な設定となります。必要に応じて設定を行ってください。



以下は、手書きについての詳細な設定となります。必要に応じて設定を行ってください。

・「領域の幅」「領域の高さ」を設定したい場合

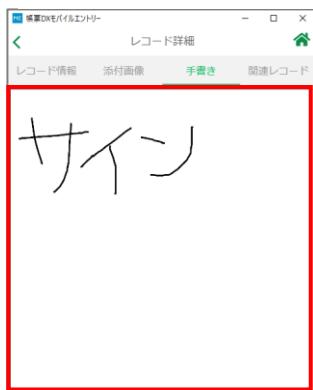
「領域の幅」「領域の高さ」を指定すると、手書き領域のサイズを変更できます。

指定しない場合は、固定サイズの矩形領域となります。

「領域の幅」を 900px、「領域の高さ」を 900px にした場合、以下のような手書き領域のサイズとなります。



■モバイル端末(900px×900px に設定した場合)



## Point

選択リスト・複数選択リスト型の項目に対して、「入力時選択肢展開」設定を行うことができます。



複数選択リスト型の項目でカスタムレイアウトを使用していない場合のモバイルアプリでの表示は以下です。

■「入力時選択肢展開」にチェックを入れない場合



■「入力時選択肢展開」にチェックを入れた場合



17. セクションと対象項目の設定が完了した後、【保存】ボタンをクリックします。

**Point** 項目を選択して、画面右上にある [▲] [▼] [–] をクリックすると、セクションの順序変更や削除ができます。



18. 「レイアウト設定一覧」にレイアウト名が表示され、オブジェクト毎のレイアウトが設定されます。

## 3.4 帳票 DX モバイルエントリー カスタム設定について

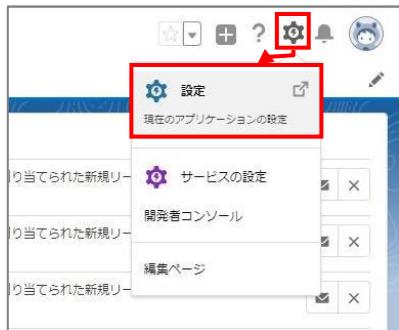
帳票 DX モバイルエントリー カスタム設定について説明します。

### 3.4.1 「バックグラウンド保存機能」の有効化設定

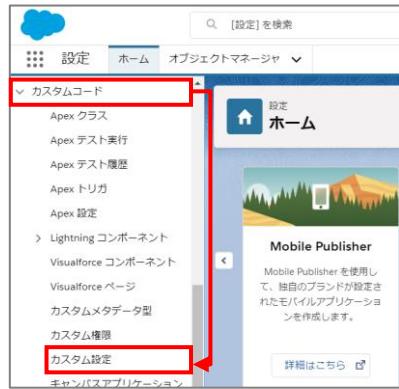
カスタム設定は帳票 DX モバイルエントリー Connector インストール時に自動で設定されますが、オフライン時に作成した未保存レコードを自動でアップロードする機能、「バックグラウンド保存機能」を有効化したい場合は、以下手順で設定を行います。

- Point** バックグラウンド保存機能を有効化した際のモバイル端末の動作については、  
【参照】 5.2.4 バックグラウンド保存機能 をご覧ください。

1. [設定] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



2. 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



3. 「カスタム設定」が表示されます。 [AppsME Statics Setting]の[Manage]リンクをクリックします。



4. 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」が表示されます。[編集]をクリックします。



カスタム設定 AppsME Statics Setting

カスタム設定が入りの場合、[新規] をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やダイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザ、プロファイル、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロファイルか、または単に一般的なユーザによって違う値を表示する場合です。

編集 削除

▼ デフォルトの組織レベルの値

保存場所: 自由にどうぞ

OPROARTS Connector Prefix: OPROARTS020

OPROARTS Connector Type: LAD

OPROARTS Designer URL: https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/testDeployedCustomLayout.do

OPROARTS Facade URL: https://www.oproarts.com/Facade

バックグラウンド保存機能の有効化:

5. 「バックグラウンド保存機能の有効化」にチェックをつけて、[保存]をクリックします。



帳票DXME 動作設定 の編集

帳票DXME 動作設定 の情報

保存場所: 標式会社オプロ

バックグラウンド保存機能の有効化:

OPROARTS Connector Prefix:

OPROARTS Connector Type:

OPROARTS Custom Layout URL: https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/testDeployedCustomLayout.do

OPROARTS Designer URL: https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/testDeployedCustomLayout.do

OPROARTS Facade URL: https://www.oproarts.com/Facade

一覧画面のレコード取得件数: 20

画像の保存先に Salesforce Files を使用する:

保存 削除

6. 「バックグラウンド保存機能の有効化」にチェックがついたことを確認します。



カスタム設定 帳票DXME 動作設定

カスタム設定が入りの場合、[新規] をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やダイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザ、プロファイル、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロファイルか、または単に一般的なユーザによって違う値を表示する場合です。

背景 削除

▼ デフォルトの組織レベルの値

保存場所:

OPROARTS Connector Prefix:

OPROARTS Custom Layout URL: https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/testDeployedCustomLayout.do

OPROARTS Facade URL: https://www.oproarts.com/Facade

画像の保存先に Salesforce Files を使用する:

バックグラウンド保存機能の有効化:

OPROARTS Connector Type: LAD

OPROARTS Designer URL: https://designer.oproarts.com/OPROARTSConsole/testDeployedCustomLayout.do

一覧画面のレコード取得件数: 20

ピュー: [すべて] 無規則ピューの生成

### 3.4.2 「Salesforce Files」に添付画像や手書きを保存する設定

カスタム設定「AppsME Statics Setting」から添付画像や手書きを保存する設定を行います。

3.4.1と同じくカスタム設定の「AppsME Statics Setting」の[Manage]リンクをクリックします。

編集ボタンをクリックします。



「画像の保存先に Salesforce Files を使用する」にチェックを付けて、保存します。



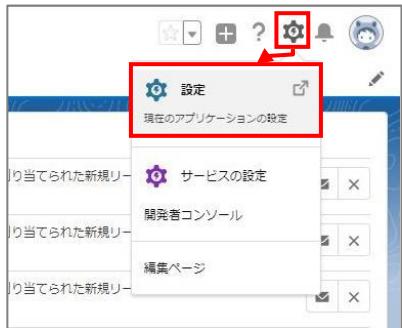
「画像の保存先に Salesforce Files を使用する」にチェックがついたことを確認します。



### 3.4.3 「一覧画面のレコード取得件数」の設定

レコード一覧や関連レコードで 1 度に取得する件数を指定できます。以下手順で設定を行います。

- [] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



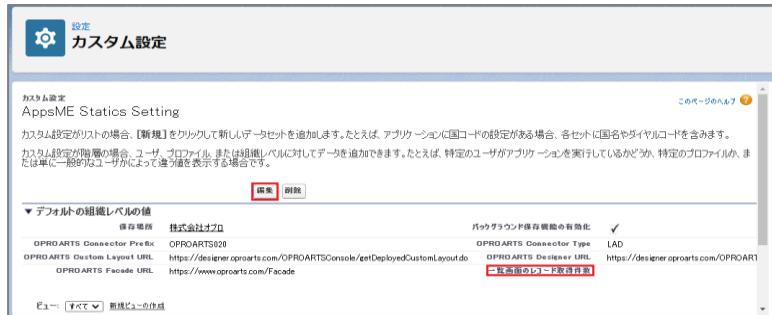
- 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



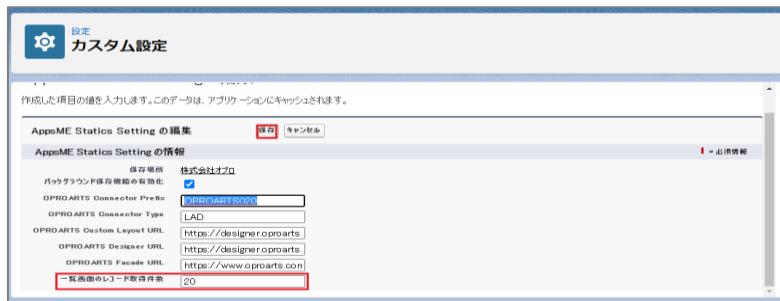
- 「カスタム設定」が表示されます。[AppsME Statics Setting] の[Manage] リンクをクリックします。



- 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」に「一覧画面のレコード取得件数」が表示されます。[編集] をクリックします。



5.「一覧画面のレコード取得件数」にレコード一覧とレコード詳細の関連レコードタブで 1 度に取得するレコード件数を設定して、[保存]をクリックします。



無指定の場合はこれまで通り 20 件で、上限は 500 件(それ以上が指定されても 500 件)です。

### 3.4.4 「一度に取得する最大レイアウト数」の設定

モバイルアプリから一度に取得する最大レイアウト数を指定できます。

ここに数値を入力した場合、その値を一度に取得する最大数として、レイアウト取得が分割して実行されるようになります。以下手順で設定を行います。

1. [設定] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



2. 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



3. 「カスタム設定」が表示されます。[AppsME Statics Setting] の[Manage] リンクをクリックします。



4. 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」に「一度に取得する最大レイアウト数」が表示されます。[編集] をクリックします。



5. 「一度に取得する最大レイアウト数」に一度に取得する最大レイアウト数を設定して、[保存]をクリックします。  
※設定する場合の目安として、まずは組織に存在するレイアウトの半分の数を設定してお試しください。  
それでもエラーが解消しない場合は、その数をさらに半分にして再度お試しください。

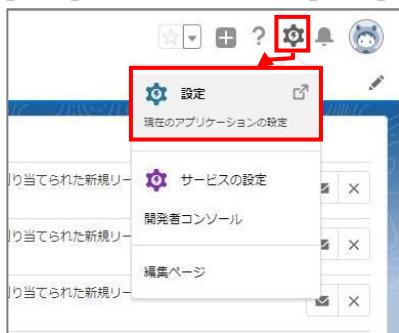


### 3.4.5 レコードの保存時や手書きの保存時に確認メッセージを表示する設定

レコードや手書きを保存する際に、確認メッセージを表示することができます。

以下手順で設定を行います。

- [] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



- 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



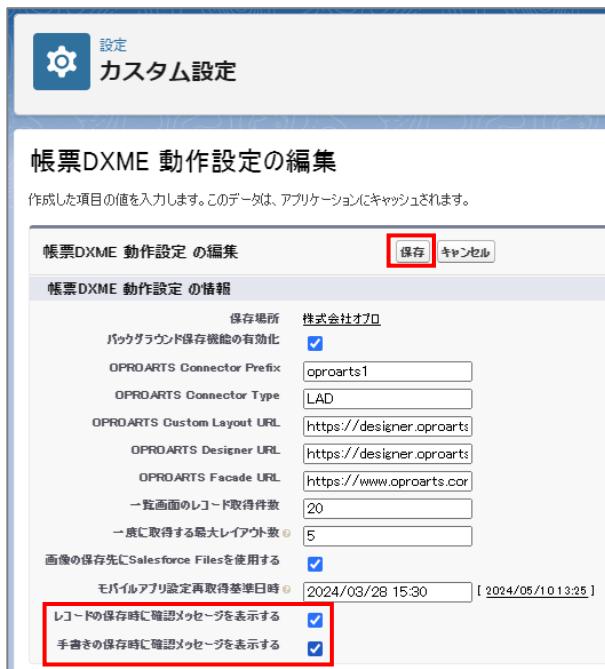
- 「カスタム設定」が表示されます。[AppsME Statics Setting]の[Manage]リンクをクリックします。



- 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」に「レコードの保存時に確認メッセージを表示する」と「手書きの保存時に確認メッセージを表示する」が表示されます。[編集]をクリックします。



5. 「レコードの保存時に確認メッセージを表示する」と「手書きの保存時に確認メッセージを表示する」にチェックを入れて、[保存]をクリックします。



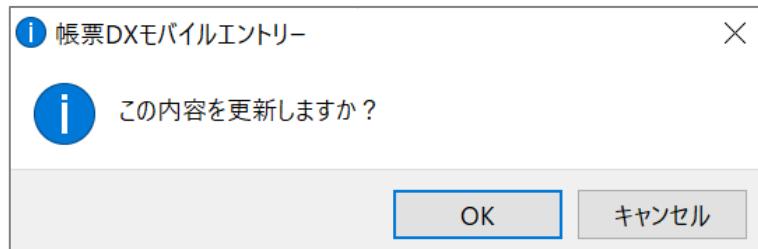
### Point

レコードの作成・更新時、手書きの保存時に表示されるデフォルトの確認メッセージは以下です。

#### ■レコードの作成・手書き保存時



#### ■レコードの更新時



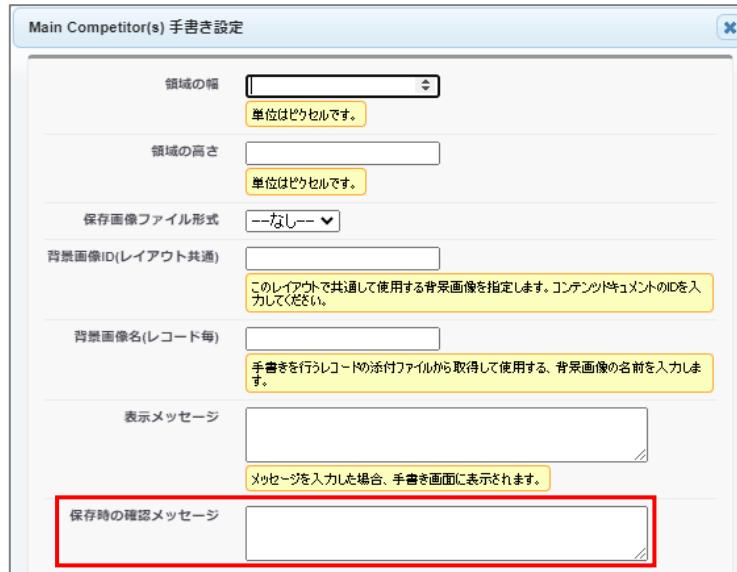
**Point**

オブジェクト毎のレイアウト設定の画面で「レコード作成時の確認メッセージ」「レコード更新時の確認メッセージ」手書き設定の「保存時の確認メッセージ」に値を入力することで、デフォルトのメッセージを変更することができます。



レコード作成時の確認メッセージ

レコード更新時の確認メッセージ



Main Competitor(s) 手書き設定

領域の幅

領域の高さ

保存画像ファイル形式

背景画像ID(レイアウト共通)

背景画像名(レコード毎)

表示メッセージ

保存時の確認メッセージ

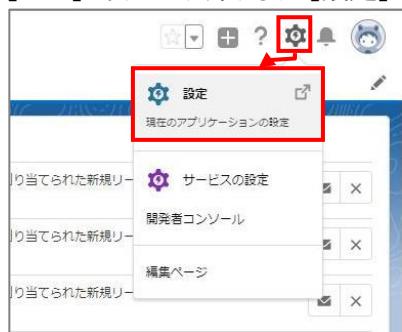
### 3.4.6 「モバイルアプリ設定再取得基準日時」の設定

モバイルアプリは、ログイン済みの再起動時、またはレコード一覧からオブジェクト一覧に戻った際に、この日時をチェックし、それがその端末で最後に設定取得を行った日時よりも後だった場合、自動的に設定の再取得を行います。

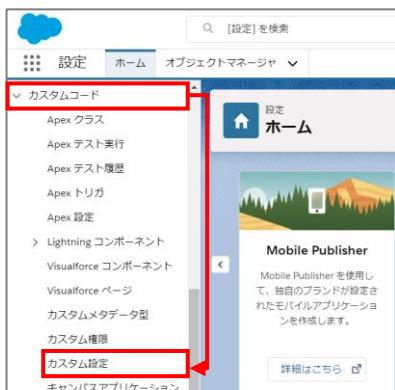
帳票 DX モバイルエントリーに関わる設定を変更した後、これを現在日時に更新しておくことで、利用者のモバイルアプリ内の設定を最新化させることができます。

以下手順で設定を行います。

- [] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



- 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



- 「カスタム設定」が表示されます。[AppsME Statics Setting]の[Manage]リンクをクリックします。



4. 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」に「モバイルアプリ設定再取得基準日時」が表示されます。  
[編集]をクリックします。



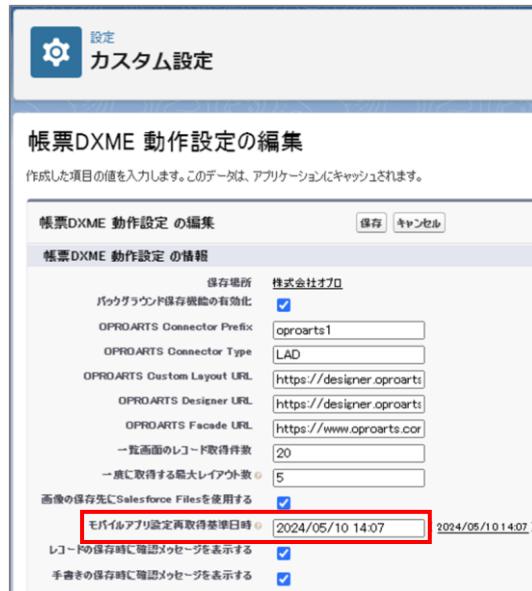
帳票DXME 動作設定

カスタム設定がリストの場合、[新規] をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やタイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザー、プロファイル、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザーがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロファイルか、または単に一般的なユーザーによって違う値を表示する場合です。

**モバイルアプリ設定再取得基準日時** 2024/03/28 15:30

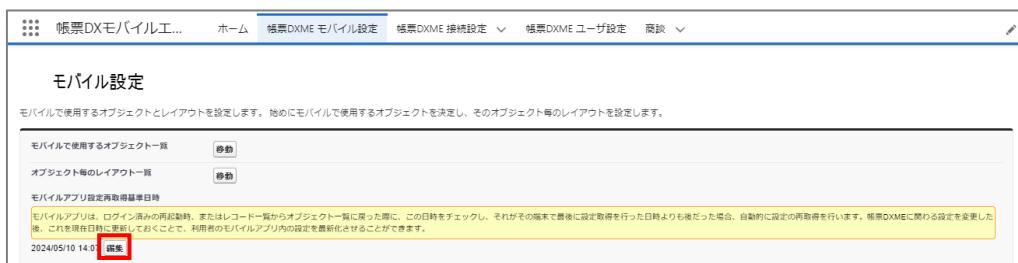
5. 「モバイルアプリ設定再取得基準日時」を設定して、[保存]をクリックします。



帳票DXME 動作設定の編集

モバイルアプリ設定再取得基準日時 2024/05/10 14:07

**Point** 本設定は、帳票 DXME モバイル設定の「モバイルアプリ設定再取得基準日時」からも設定が可能です。



モバイル設定

モバイルで使用するオブジェクトとレイアウトを設定します。始めにモバイルで使用するオブジェクトを決定し、そのオブジェクト毎のレイアウトを設定します。

モバイルで使用するオブジェクト一覧

モバイルアプリ設定再取得基準日時 2024/05/10 14:07

### 3.4.6 「OPROARTS Connector Prefix」の設定

カスタムレイアウトを設定するときに使用する OPROARTSConnector の名前空間プレフィックスを設定する必要があります。カスタムレイアウトを使用しない場合はこちらの設定は不要です。

以下手順で設定を行います。

1. [設定] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



2. 「ホーム」画面が表示されます。「カスタムコード」>「カスタム設定」をクリックします。



3. 「カスタム設定」が表示されます。 [AppsME Statics Setting]の[Manage]リンクをクリックします。



4. 「カスタム設定 AppsME Statics Setting」に「OPROARTS Connector Prefix」が表示されます。 [編集] をクリックします。



5. 「OPROARTS Connector Prefix」を使用する OPROARTS Connector の「名前空間プレフィックス」に変更します。



#### Point

製品ごとの名前空間プレフィックスは以下です。

- OPROARTS Connector→「OPROARTS020」（デフォルト値）
- OPROARTS Connector(バージョン 2.\* )→「oproarts1」
- 帳票 DX for Salesforce→「docutizexa」
- ソアスク・soarize→「appsf」
- docutize→「docutize」

名前空間プレフィックスの確認方法は以下です。

- [設定] ボタンをクリックし、[設定] をクリックします。



- クリック検索に「インストール」と入力します。「インストール済みパッケージ」を選択します。



## 3. インストール済みパッケージ&gt;「名前空間プレフィックス」を確認します。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	状況	許可されているライセンス数	使用ライセンス	有効期限	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オプ:
アンインストール   設定	OPRO ARTS Connector	株式会社オプロ	1.32	OPROARTS020	有効	Unlimited	0	有効期限は 2020/04/06 あります	2020/04/06 16:41			1	1

**説明**  
OPRO ARTS is the cloud service of document generation and delivery.  
<https://www.opro.net/>

## 4. モバイル端末側の設定

帳票 DX モバイルエントリーモバイルアプリをインストールし、3 章で作成したレイアウトをモバイル端末から参照します。

### 4.1 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリのインストール | iOS/Android/Windows10

帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリをインストールします。

#### ■ iOS の場合

App Store から株式会社オプロの「帳票 DX モバイルエントリー」をインストールします。

<https://itunes.apple.com/jp/app/apps-mobile-entry/id1417050447?l=en&mt=8>



#### ■ Android の場合

Google Play から株式会社オプロの「帳票 DX モバイルエントリー」をインストールします。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=net.opro.product.appsme>



#### ■ Windows10 の場合

次の URL にアクセスして、インストーラをダウンロードします。

<https://spc.opro.net/hc/ja/articles/360008071973>

#### Point

事前に Windows 既定のブラウザから Salesforce 組織にログインしていれば、帳票 DX モバイルエントリーからのログイン時に自動で Salesforce にログインします。

## 4.2 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリの起動（ログイン）

帳票 DX モバイルエントリーのモバイルアプリを起動し、Salesforce 側で設定したオブジェクトとレイアウトが表示されることを確認します。

1. 帳票 DX モバイルエントリーを起動します。  
(スマホ／タブレットの場合は帳票 DX モバイルエントリーのアイコンをタップします。)



2. クラウドの選択画面が表示されます。  
「Salesforce」を選択し、「決定」ボタンをタップします。



3. 帳票 DX モバイルエントリー（Salesforce 版）が表示されます。[ログイン] ボタンをタップします。



4. ログイン画面が表示されます。プロファイルの設定を行ったユーザでログインします。



5. 「アクセスを許可しますか？」画面が表示されます。【許可】ボタンをタップします。



**注意**

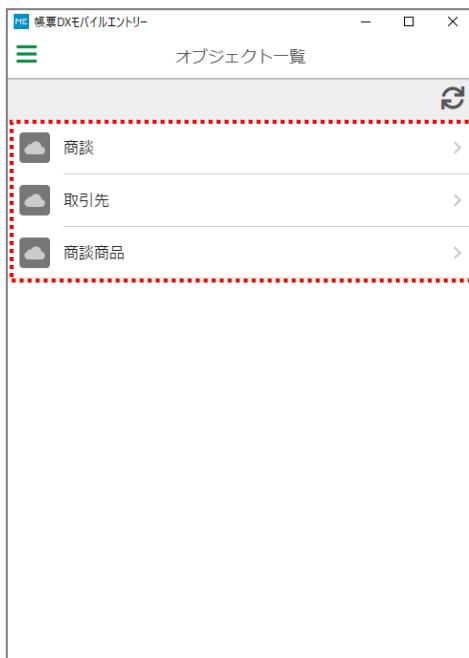
Salesforce にログインした際、OAuth 認証が行われます。

以下の手順に沿って、**接続アプリケーションのインストールを必ず行ってください。**

[接続アプリケーションのインストール\(帳票 DX モバイルエントリー/クラウドサイン NOW\)](#)

※接続アプリケーションのインストールを行わないと、帳票 DX モバイルエントリーを使用できなくなります。

6. Salesforce 側で設定したオブジェクトが表示されます。



## 4.3 帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリの終了（ログアウト）

ログアウトの手順は次のとおりです。

1. [メニュー] アイコンをタップします。



2. [ログアウト] をタップします。



# 5. 帳票 DX モバイルエントリーの説明

帳票 DX モバイルエントリー モバイルアプリの基本的な操作やオフライン時の操作について説明します。

## 5.1 基本操作について

ログイン後の基本的な操作手順や画面に表示される内容は次のとおりです。

ここでは、「商談」オブジェクトを例に説明します。

1. ログインすると、「オブジェクト一覧」画面が表示されます。  
オブジェクトから「商談」を選択します。



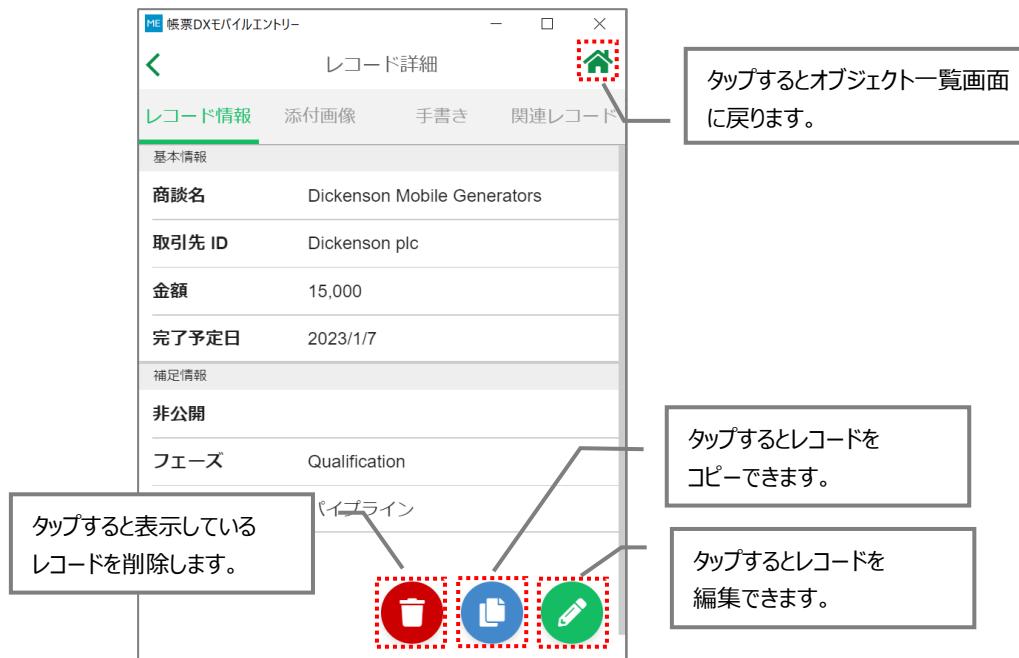
**Point** オブジェクト一覧画面の更新時に、帳票 DXME モバイル設定の情報を取得します。  
帳票 DXME モバイル設定を追加・変更・削除した場合は、オブジェクト一覧画面で更新を行ってください。

2. 商談のレコード一覧画面が表示されます。  
詳細を確認するレコードをタップします。

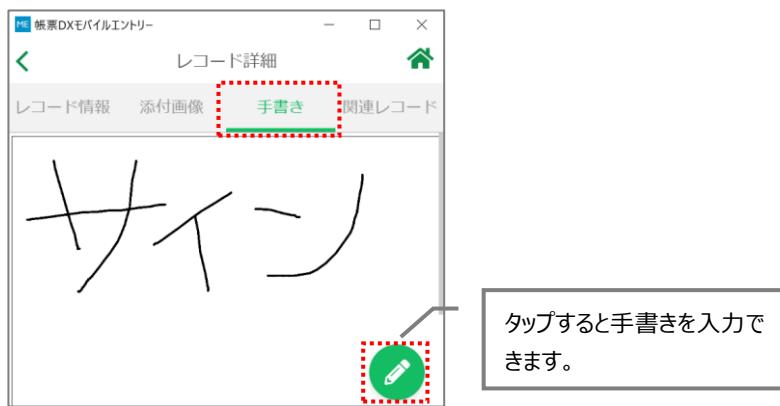


**Point** モバイルで使用するオブジェクトが 1 つしか設定されていない場合、オブジェクト一覧画面はスキップされ、レコード一覧画面に遷移します。

## 3. 「レコード詳細」画面が表示されます。



**Point** Salesforce 側の設定で「手書きパッドを使用する」にチェックをつけると、モバイル端末の画面に「手書き」タブが表示されます。

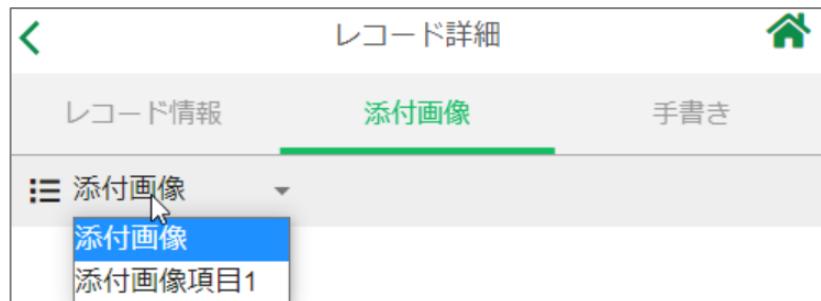


**Point**

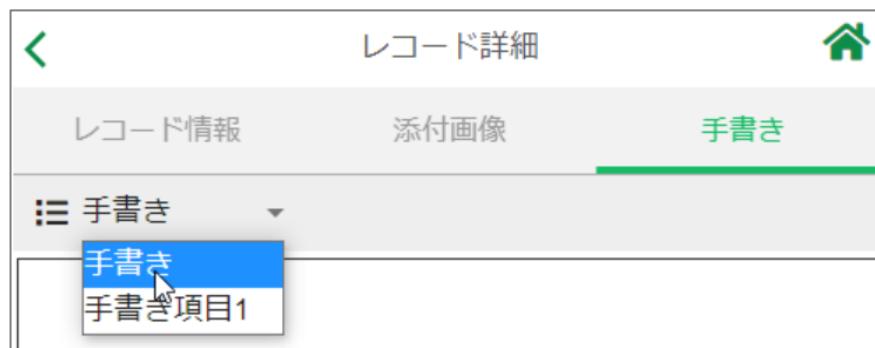
項目に紐づく添付画像や手書きは、それぞれのタブから閲覧・編集することができます。

どの添付画像や手書きを閲覧・編集対象とするかは、画面上部のメニューで選択します。

・添付画像タブでは、「添付画像」とあるものは従来の項目に紐づかない添付画像、項目のラベル名が表示されているものは項目に紐づく添付画像を指します。



・手書きタブでは、「手書き」とあるものは従来の旧手書き、項目のラベル名が表示されているものは項目に紐づく手書きを指します。



・「添付画像タブを表示しない」・「手書きタブを表示しない」設定をオンにした場合、レコード詳細画面でそのタブが表示されなくなります。



**Point** レイアウトに手書き項目が複数含まれる場合、モバイルアプリでは以下のように表示されます。

- ・通常レイアウト

【詳細画面】

・入力済み  
添付画像1

OPRO  
TEST

手書き1

テスト

【編集画面】

入力済み  
添付画像1

OPRO  
TEST

テスト

手書き1

手書き1

テスト

- ・カスタムレイアウト

【詳細画面】

添付画像1

OPRO  
TEST

手書き1

テスト

【編集画面】

添付画像1

OPRO  
TEST

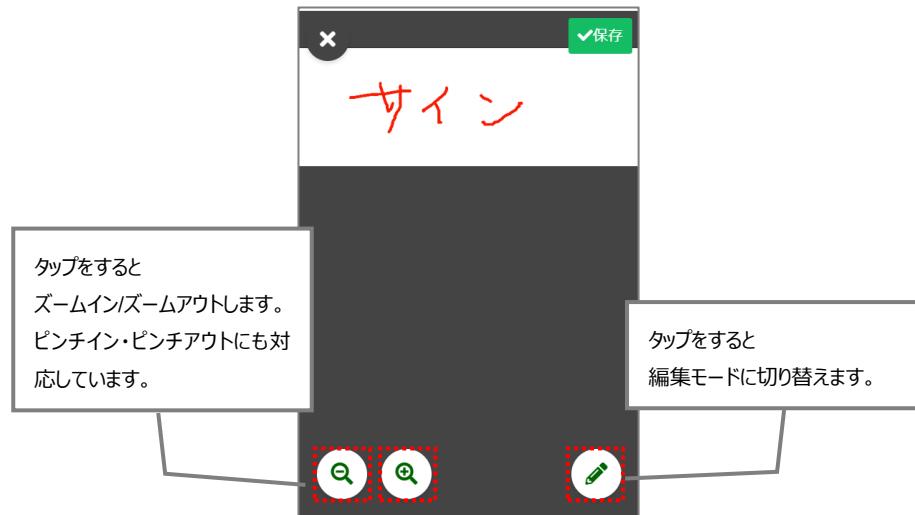
手書き1

テスト

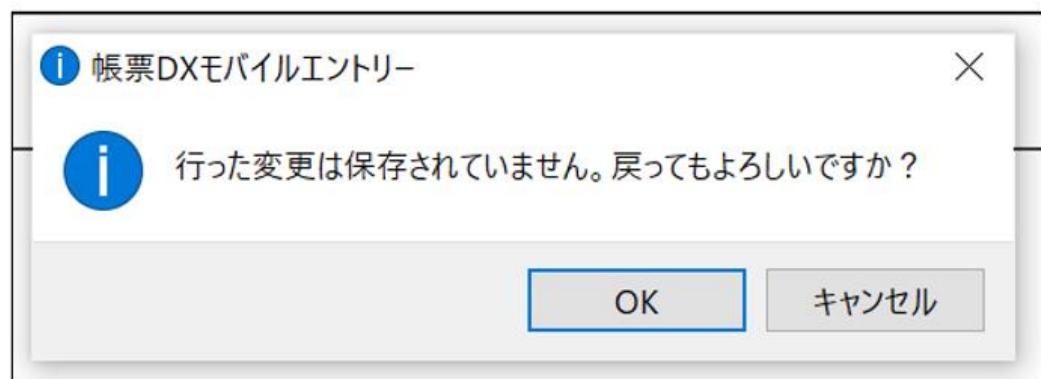


## Point

## ■モバイル端末(移動モード)



戻るボタンを押下した際、レコードを編集済み(編集している)場合は、アラートが表示されます。



## 5.2 オフライン／オンライン時の操作について

帳票 DX モバイルエントリーではオフライン時にもレコードの新規作成・編集できます。オフライン時の編集とオンライン状態になった際のデータの同期方法は次のとおりです。

### Point

レコード一覧に遷移すると、レコードの詳細情報をモバイル側に保持します。オフライン時にデータを参照したい場合は、オンライン時にレコード一覧画面に遷移して、事前にレコード情報を取得してください。

オフライン時は画面下部に[オフラインです]と表示されます。



## 5.2.1 オフライン時の操作(新規作成)

帳票 DX モバイルエントリーへのログイン後にオフラインとなった場合でも、レコードを新規作成してローカルに保存できます。

1. オフライン時にレコードを新規作成し、保存します。



2. 「レコード詳細」画面が表示され、赤字で「未保存 (作成)」と表示されます。



3. レコード一覧画面に戻り、同様に赤いマークが表示されていることを確認します。



**注意**

オフライン時にレコードを新規作成した場合は、必ずオンライン状態でデータをアップロードしてください。  
アップロードせずに帳票 DX モバイルエントリーからログアウトすると、編集した内容は消去されますのでご注意ください。

## 5.2.2 オフライン時の操作(編集)

帳票 DX モバイルエントリーにログイン後にオフラインとなった場合でも、レコードを編集してローカルに保存できます。

### 1. オフライン時にレコードを編集し、保存します。



### 2. 「レコード詳細」画面が表示され、赤字で「未保存 (更新)」と表示されます。



**Point** レコードを編集した場合は、「削除」をタップしてもレコードを削除することはできません。

3. レコード一覧画面に戻り、同様に赤いマークが表示されていることを確認します。

帳票DXモバイルエントリー	
商談	
すべての	フィルタ
商談名 フェーズ 金額	サンプル商談 Closed Won
商談名 フェーズ 金額	Dickenson Mobile Generators Qualification 15,000
商談名 フェーズ 金額	United Oil Installations Negotiation/Review 350,000
商談名 フェーズ 金額	Edge Emergency Generator Closed Won 75,000
商談名 フェーズ 金額	Edge Installation Closed Won 50,000
商談名 フェーズ 金額	United Oil Refinery Generators Proposal/Price Quote 270,000

**注意**

オフライン時にレコードを編集した場合は、必ずオンライン状態でデータをアップロードしてください。  
アップロードせずに帳票 DX モバイルエントリーからログアウトすると、編集した内容は消去されますのでご注意ください。

**Point**

オフライン時に作成した未保存レコードの件数は、以下のように「バッジ」として表示されます。

本機能は iOS 及び Android に対応しています。Windows は非対応です。

※一部の Android 端末では表示されない場合があります。



### 5.2.3 オンライン時の操作

オフライン時に新規作成・編集したデータをアップロードします。

- オンライン状態であることを確認し、レコード一覧画面のフィルタで「未保存のレコード」をタップします。



- 右下の【アップロード】アイコンをタップします。Salesforce に編集した内容が反映されます。



### 5.2.4 バックグラウンド保存機能

バックグラウンド保存機能を有効化すると、オフライン時に作成した未保存レコードを自動でアップロードします。

バックグラウンド保存実行中は、すべての画面において画面下部に[バックグラウンド保存中(1/〇〇\*)]と表示されます。

\*「〇〇」は未保存レコードの数です。本機能を有効化すると 60 秒に 1 度、未保存レコードの有無のチェックが行われます。

#### Point

バックグラウンド保存機能を有効化する方法は

[\[参照\] 3.4 帳票 DX モバイルエントリー カスタム設定について](#) をご覧ください。



## 5.3 権限の有無によるボタンの表示について

プロファイルのオブジェクト権限に応じて、帳票 DX モバイルエントリー上のボタン表示が変わります。

### 5.3.1 レコード一覧画面(すべてのレコード表示時)作成権限がない場合

レコードの作成権限がない場合、レコード一覧画面ですべてのレコードを表示した際、[作成ボタン]が表示されません。

#### ■レコード一覧画面 すべてのレコードを表示

取引先	
≡ すべてのレコード ▾	
親取引先 ID	United Oil & Gas, UK
取引先名 親取引先 ID	United Oil & Gas, UK
取引先名 親取引先 ID	United Oil & Gas, Singapore
取引先名 親取引先 ID	Edge Communications
取引先名 親取引先 ID	Burlington Textiles Corp of America
取引先名 親取引先 ID	Pyramid Construction Inc.
取引先名 親取引先 ID	Dickenson plc
取引先名 親取引先 ID	Grand Hotels & Resorts Ltd

### 5.3.2 レコード一覧画面(未保存のレコード表示時)作成・編集権限がない場合

レコードの作成・編集権限がない場合、レコード一覧画面で未保存のレコードを表示した際、[アップロードボタン]が表示されません。

#### ■レコード詳細画面 未保存のレコードを表示

取引先	
≡ 未保存のレコード ▾	
レコードは見つかりませんでした	

### 5.3.3 レコード詳細画面 作成・編集・削除権限がない場合

レコードの作成権限がない場合、レコード詳細画面のレコード一覧タブには、[コピーボタン]が表示されません。

#### ■レコード詳細画面



レコードの編集権限がない場合、レコード詳細画面のレコード一覧タブには、[編集ボタン]と[削除ボタン]が表示されません。

#### ■レコード詳細画面



レコードの削除権限がない場合、レコード詳細画面のレコード一覧タブには、[削除ボタン]が表示されません。

#### ■レコード詳細画面



### 5.3.4 レコード詳細画面の関連レコードタブ 作成権限がない場合

対象の子オブジェクトの作成権限がない場合、レコード詳細画面の関連レコードタブには、[コピーボタン]が表示されません。

#### ■ レコード詳細画面



#### ■ 関連オブジェクトのレコード詳細画面



帳票 DX モバイルエントリー  
セットアップガイド  
Salesforce 版

発行元 株式会社オプロ